

草津未来 SDG'S AWARDS

～地域の課題解決アイデアコンテスト～



【目的】

持続可能な開発目標(SDGs)達成に向け、市や地域が抱える様々な課題に対して、「持続可能な未来のために大学生の視点」から、実装を含めた課題の解決を図るアイデアコンテストを実施し、大学生がまちづくりに関わるきっかけづくりや市民との協働の機会の創出を行います。

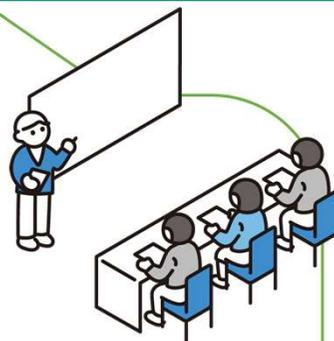


17件の応募

1次審査通過: 12件

2次審査会 令和6年10月26日（土）実施

- プレゼンテーションによる一般公開型審査会の実施
- 審査員による採点審査
- 1次審査の得点と2次審査の得点の合計点が高い上位3団体が入賞



最優秀賞

おもしろいことを
考えようの会

優秀賞

立命館大学
都市地域デザイン研究室・都
市空間デザイン研究室

入賞

都市デザイン研究室
UDCBK



最優秀賞

『食・色・職・植・触まつり～子どもたちの記憶に残る「しょく」体験～』

応募課題テーマ：若い世代からの参加が見込まれる食まつり

小学生以下の子どもを対象に「しょく」体験を提供し、楽しい思い出を作ることによって地域愛を育み、地域定着の第一歩となるまつりを企画。

5つの「しょく」

「食」：メロンっぽい味になる組み合わせ体験。

「色」：食品ロス野菜を原料とした絵具を使って、お絵かき。
食べられずに廃棄される野菜が存在すること、活用方法があることを伝える。

「職」：ソーラークッカーで焼き芋体験。
学区内でとれたサツマイモをソーラークッカーで温める。

「植」：地域野菜である愛彩菜の育て方をレクチャー。実際に種をポット植えしてもらい持って帰ってもらう。

「触」：箱の中身はなんだろうなゲーム。箱の中に入っている野菜が何なのか当ててもらうことで、ゲーム感覚で地元の野菜を知ってもらい楽しく野菜に触れてもらう。

様々な「しょく」体験の縁日

食・色・職・植・触まつり

縁日の楽しかった思い出を、大人になってからでも覚えてるのでは？



楽しい縁日の形で、子ども達に様々な「しょく」体験



子ども達が草津地域の野菜に関心をもつキッカケ

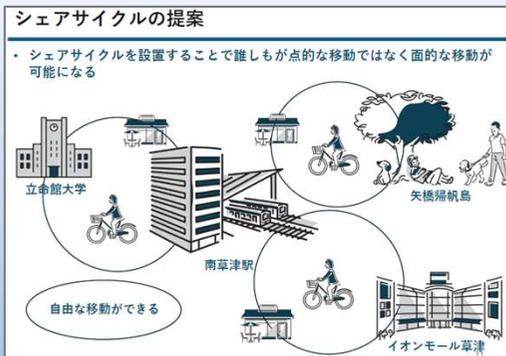


将来の担い手へ
▶ 若い人の定着

優秀賞

『びわ湖とまちを結ぶシェアサイクル』

応募課題テーマ：矢橋帰帆島を中心とした地域の活性化に向けて



南草津駅⇔矢橋帰帆島の新たな移動手段として、シェアサイクルを提案。

モニターによる社会実験を行いフィードバックを行うことで、よりシェアサイクルの実用性を確認し、矢橋帰帆島へ若者を呼び込むことで、地域活性化を図る。

入賞

『遊ぼう！創ろう！集おう！駅前プロジェクト』

～人が主役のまちなかを“未来のあたりまえ”に～

応募課題テーマ：若者・次世代に繋ぐ南草津駅周辺の未来構想



公園を「遊び、創り、集う」魅力あふれるにぎわいの拠点へ。

南草津駅西口に位置する東山道記念公園において、産官民学が連携し、ガーデニングや木製遊具の計画から作成・設置までを共同で行い、各ステークホルダー間の交流を深め、地域への愛着を育む。

実装結果報告

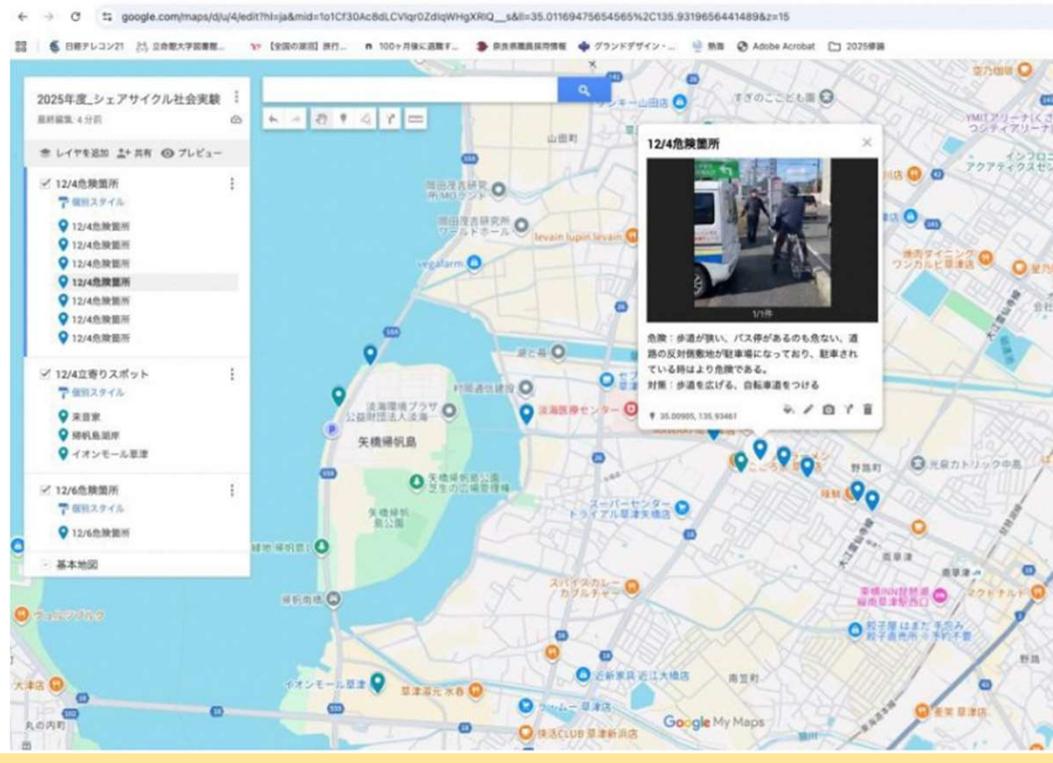
(令和6年度～令和7年度実装)

＜シェアサイクル導入を目指した社会実験実施＞

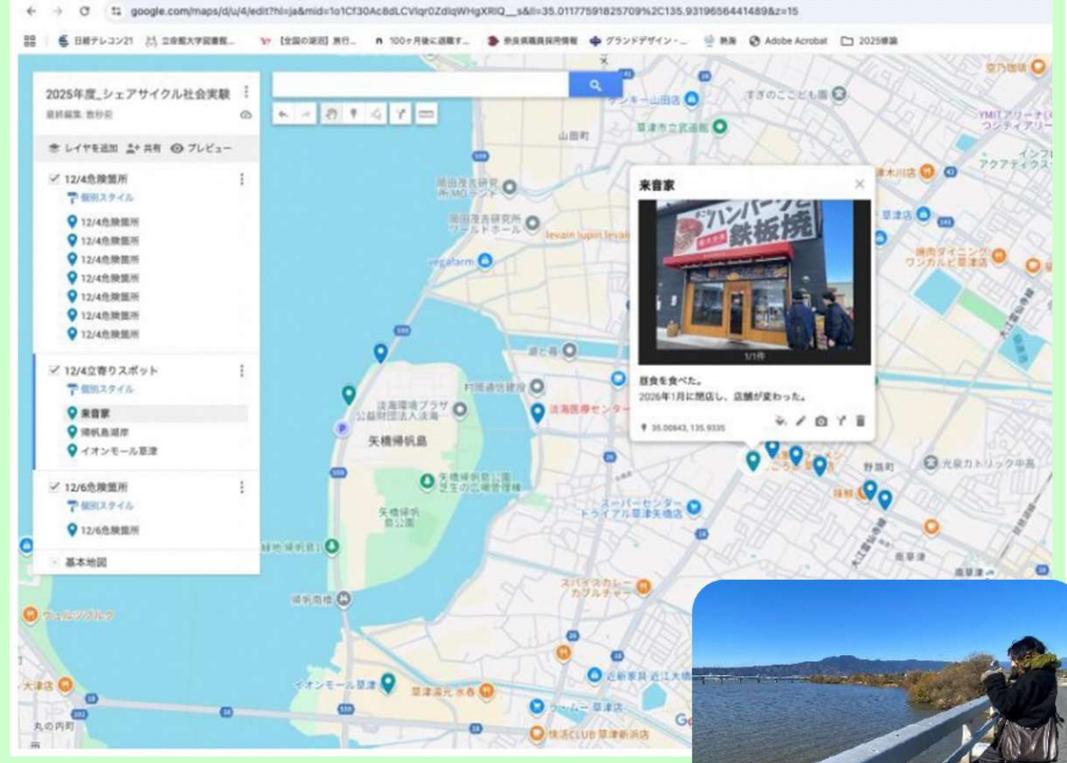
- ・南草津駅から帰帆島へ自転車で行くことを想定し、走行したくなるルート、魅力ポイントの確認を行った。
 - ・ルートをシェアサイクルで走行する際に危険となる箇所の把握・危険度の明確化を行った。
- ➡シェアサイクル導入時に検討が必要となる基礎データを取ることができた。
危険箇所や魅力箇所の発信を今後も行っていきたい。



①危険箇所のプロット



②魅力箇所のプロット



大学生15名で危険箇所や魅力箇所を調査！
調査結果は地図上にプロットし、危険箇所では“どのような部分が危険なのか”・“どのように対策したら良いのか”を調査し記載。また、魅力箇所では、“どんなところが魅力的であったか”等といったポイントを調査し記載することで、びわ湖とまちをつなぐシェアサイクルの可能性や基礎調査になった。

<全5回の公園づくりワークショップを開催>

- ・全5回にわたるWSを開催し、市民の方々(子育て世代)と一緒に楽しい公園づくりを実施した。
- 【第1回】公園で「〇〇したい」を見つけよう
- 【第2回】公園が楽しくなるアイデアを考えよう
- 【第3回】モノづくりの計画を立てよう
- 【第4回】公園に置く〇〇をみんなで作ろう
- 【第5回】わくわく公園でみんな遊ぼう！

→一つの目的に向けて一緒に取り組むことで、地域のつながりを作ることができ、つながる機会の創出ができた。
自分たちで地域の公園について考え具現化する機会を作ることによって、参加者は「自分たちのまちを自分たちで楽しくする」経験ができた。

第1回

「〇〇したい！」を
考えて共有した。



第2回

「〇〇したい！」をもっ
と具体的に考えた。



第3回

どうやって作るのか。どこに設置し
たらよいか。をみんなで考えた。



第5回

(令和7年11月1日開催)

「〇〇したい！」を叶える時。
一緒に作った仲間たちや来場された方
と楽しい時間を過ごすことができた。

第4回

自分たちで考えたモノを
自分たちの手で作成！



公園ワークショップ成果発表イベント！

みんなで遊ぼう！ わくわく もっと楽しむ公園

自分たちのまちを自分たちで楽しくしよう！

11/1 (土) 13:00 - 15:00

開催場所 JR南草津西口の公園 (東山道記念公園)

草津市×立命館大学×地域のみんなで進めてきた「公園づくりワークショップ」いよいよお披露目です！9月から始まったワークショップで「公園でこんなことできたら…」と地域のみんなで考えた手作り遊具が公園に登場します。自分たちの手で公園を楽しむこの一大プロジェクト！ぜひあそびに来てください！

主催：立命館大学 都市デザイン研究室 (お問い合わせ:ce0039ke@ed.ritsumei.ac.jp)
協力：草津市 草津未来研究所
※本事業は令和6年度に実施された「草津未来SDGsAwards」の入賞事業として実施するものです。